

※情報解禁：2017年11月1日(水) AM 10:00



古新舜監督・長編第2弾映画「あまのがわ」(主演・史織役 福地桃子)
『明治維新150周年』を迎える2018年 劇場公開予定
本日、実力派俳優陣 全メインキャストが発表！
同日、鹿児島市内よりクランクイン！

コスモボックス株式会社(本社：東京都杉並区、代表取締役：古新舜)は、2017年11月1日、長編映画「あまのがわ」(2018年下期公開予定)の全メインキャストを以下の通り発表いたしました。また、本日、多くの皆様のご支援により、無事鹿児島市内よりクランクインとなりましたこと合わせてご案内いたします。



【長編映画「あまのがわ」について】

本作は、2014年に監督の古新が企画、以来3年間の取材・構想を重ね、来年『明治維新150周年』を迎える鹿児島を舞台に撮影を開始いたします。

西郷隆盛が大切にした、《社会を変える志》、《一人ひとりの踏み出す勇気の大切さ》を、時代を越えて日本全国へ伝えていきたい。その想いを本作に込めて発信して参ります。

【映画のストーリー】

「心無くした彼女は、身体無くした彼と、旅に出る」

主人公の琴浦史織は、祭りの太鼓奏者であったが、教育に厳しい母親との葛藤から自分自身のやりたいことを見失ってしまう。祖母の入院をきっかけに故郷の鹿児島を訪れ、その道中で分身ロボットと出会う。

分身ロボットは遠くからネット通信で操作されているロボットだが、史織はそれを誰が動かしているのか、その存在を知らないまま旅を続ける。

屋久島で様々な背景を抱えた個性的な登場人物と出逢いながら、今まで体験したことのない出来事に遭遇する。

太鼓を演奏することができなくなっていた史織は、親から離れた一人旅の中で、如何に人として成長をし、自分の心を取り戻していけるか。そして、謎に満ちた分身ロボットの裏にいる人物とどう向き合うか。

テクノロジーの急速な進化の中で、現在の若者、そして親世代に求められている力は何なのか？ を問いかけていく。

【11月1日、鹿児島市内よりクランクイン】



撮影隊が鹿児島空港に到着。鹿児島市内よりクランクインいたします。



【メインキャスト発表および登場人物】

福地桃子（琴浦史織役） 母との不仲で不登校。おはら祭りで太鼓を演奏。

柳 喬之（鷺尾星空 [せいら] 役） 種子島在住の青年。天体マニア。

吉満寛人（天野一彦役） 屋久島在住の往診医。一人暮らし。

マツモトクラブ（仮谷圭二役） ペンション「マリンブルー」のオーナー。

住岡梨奈（白鳥奏役） 屋久島のペンションでバイト中。

西田聖志郎（日高猛役） 種子島にいる工学博士。天野の同級生。

豎山博之（古井戸守役） 屋久島の南の教会に住み込む管理人。

水之直哉（藤城健役） 鹿児島先端技術大学にいる分身ロボットの開発者。

杉本 彩（鷺尾靖子役） 星空の母親。夫は単身赴任で、星空と二人暮らし。

生田智子（琴浦聡美役） 史織の母。離婚し史織と二人で暮らす。人工知能の研究者。

水野久美（上之園菊江役） 鹿児島島の病院で入院中。太鼓の名手。

【主人公・史織に関して】

史織を演じる福地桃子さんは、近年バラエティーを中心に活躍、父親の哀川翔さんとの共演も話題になっています。本作が映画デビュー作、そして、初主演となります。主人公が持つ空気感、雰囲気、ぜひ福地さんに演じていただきたいと、起用を決定しました。

【史織役・福地桃子さんコメント】

新たな挑戦ということで嬉しい気持ちや楽しみな事も沢山ありますが、初めての事だらけで正直今は不安な気持ちでいっぱいです。ですが、初めてだからこそ新しい発見は必ずあると思うので、この作品を通して成長できるように頑張りたいです。

【作品概要】

- ◆ロケ地 鹿児島県屋久島 種子島 鹿児島市内 東京都渋谷区
- ◆公開予定 2018年下半期
- ◆監督 / 脚本 古新 舜 (こにい しゅん)
- ◆プロデューサー 森 武彦、前田 光一、松本 沙織
- ◆撮影監督 陣ヶ尾 達也
- ◆地域協力プロデューサー 植村 耕二、黒坪 則之
- ◆キャスティング 渡邊 直哉、柳井 宏輝
- ◆後援 一般社団法人 日本テレワーク協会
NPO 法人 渋谷・鹿児島文化等交流促進協議会
- ◆協力 鹿児島県、鹿児島市、屋久島町、西之表市、
関東鹿児島県人会連合会、鹿児島市関東交友会、関東屋久島会、
関東種子島会、米盛病院、城山観光ホテル、マリンプルー屋久
島、島のタカラ、種子屋久高速船、株式会社鹿児島銀行、
日本瓦斯株式会社、株式会社細山田商事、隆成会病院、太鼓打魁、
デジタルハリウッド大学、全日本空輸株式会社、
三井住友海上火災保険株式会社 他多数
◎映画「あまのがわ」を支援する会
<http://amanogawa-movie.com/supporters/>
- ◆制作 コスモボックス株式会社 (<http://cosmobox.jp/>)

【監督・古新舜よりコメント】

自分は学生時代、対人関係がとても苦手で、自分はなんてダメな人間なんだと思い込んでいました。大学卒業後、映画制作と出会い、仲間の大切さ、他者との協働のあり方を体感し、自分だからこそできることは何か？ と考えるようになりました。

東日本大震災の際、福島県南相馬市でボランティア活動を行ったことをきっかけに、私たちの幸せとは、自分たちが囲まれている環境や自然、仲間を如何にみんなで愛せるか、だと感じました。前作「ノー・ヴォイス」はその視点を元に犬や猫と人間が共に幸せに生きる社会の実現に向け、大切なことは何かをメッセージに込めました。前作を作る過程で、様々な活動に勇気を持って挑戦している方々と接した時に、主体的に行動することの大切さをひしひしと感じました。そして自分自身、決められた人生のルールから外れたことが、現在の活動に繋がっていることを実感しました。

この映画に、「失敗を恐れずに踏み出す勇気」の大切さをメッセージに込め、発信してまいります。

◆映画「あまのがわ」公式 HP

<http://amanogawa-movie.com/>

◆本件問い合わせ先

コスモボックス株式会社（担当：松本） 090-1699-8408 info@cosmobox.jp